

■米国：カリフォルニア州オーロビル・ダム周辺住民約 20 万人に避難命令

2017 年 2 月 13 日付の業界紙によると、カリフォルニア州オーロビル湖周辺自治体は、2 月 12 日、オーロビル・ダムを管理するカリフォルニア州水資源局（DWR）の通達を受け、周辺住民約 20 万人に対し避難命令を出した。これは、湖の水位上昇に伴いダムの緊急用洪水吐から越流が発生、下流側の地山が洗掘された結果、穴ができたため、さらに洗掘が進むとダム基礎に水みちがで、大量の水が下流に流出する危険性があると判断されたことからである。DWR は、緊急用洪水吐からの越流を停止させるため、2 月 12 日午後、常用洪水吐からの放流量を 5 万 5,000cfs（立方フィート／秒）から 10 万 cfs に増量した。オーロビル・ダムには常用洪水吐と緊急用洪水吐があり、緊急用洪水吐が使用されたのはダムが完成してから約 50 年で初めてのことである。カリフォルニア州では、数年ぶりの大量の降雨と降雪により湖の水位が上昇していた。オーロビル・ダムは高さ約 230m で、アメリカで最も高いダムで知られている。今回の事態に対応して、パシフィック・ガス&エレクトリック（PG&E）社はヘリコプターを使って、オーロビル・ダムの緊急放水路上にある送電鉄塔 2 基を解体して移動した。会社によると既設の送電ルートは一時的に迂回されるが、需要家への供給支障はないとしている。なお、オーロビル湖には DWR の揚水発電所があるが、被害の有無については現時点では報道されていない。